

うめとぴあ

[UMETOPIA
JOURNAL]

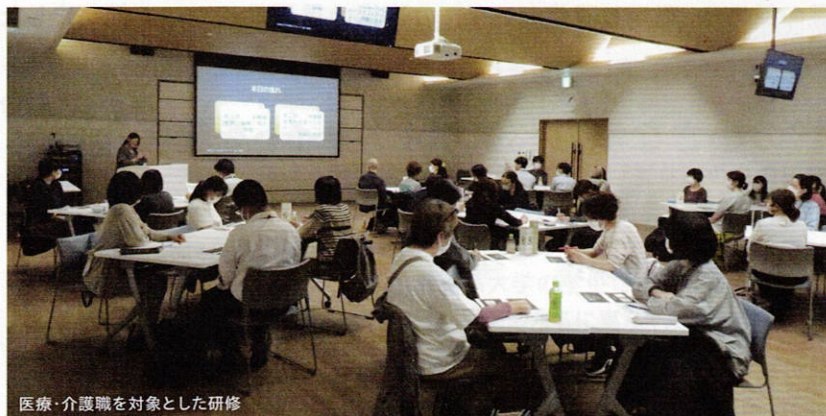
通信

特集

世田谷区福祉人材育成・
研修センター

福祉・介護の しごととは 魅力がいっぱい

誰かの人生を支える、福祉・介護のしごと。世田谷区福祉人材育成・研修センター（以下、研修センター）では、外部団体とも連携しながら、様々な事業を行っています。



医療・介護職を対象とした研修



福祉の出前入門講座



外国人職員交流会

KAiGO PRiDE @ SETAGAYA2026

KAiGO[®] PRiDE × 世田谷区 × 世田谷区福祉人材育成・研修センター

「KAiGO PRiDE @ SETAGAYA2026」とは、世田谷区内の介護現場で働く職員が、自ら介護の仕事の魅力を発信するプロジェクトです。プロカメラマンによるクリエイティブなポートレートを4年ぶりに作成しました。近日、区内商業施設などで公開予定です。ポートレートに付けた2次元コードにスマホをかざすと、モデル自身が語る「介護の仕事を選んだ理由」や「心に残っているエピソード」や、職場での仕事の様子を紹介した動画が視聴できます。



ポートレート撮影の様子



研修センター職員の皆さん

世田谷区福祉人材育成・研修センターとは？

世田谷区立保健医療福祉総合プラザ1階にあり、福祉の理解促進、高齢・障害・子どもの各分野と医療福祉連携等の各種研修を年間130本行うほか、福祉のしごとの魅力発信、介護に関する入門講座や初任者研修などの人材の発掘、相談・面接会や施設見学会での就労支援、調査・研究事業など、世田谷区の福祉人材施策を総合的に実施しています。

INDEX

2面

特集：福祉・介護のしごととは
魅力がいっぱい

3面

うめトピックス：
事業所報告

4面

イベント情報&
施設情報



特集 | 福祉・介護のしごととは魅力がいっぱい

研修センターでは、福祉・介護の仕事の魅力を発信する様々な取り組みを行う中で、現場の声を聞くことを大切にしています。「特別養護老人ホーム弦巻の家」の施設長を務め、KAiGO PRiDEアンバサダーとしても活躍する藤巻佳祐さんに、介護職の魅力や、現場と研修センターの連携の重要性について伺いました。

インタビュー

「日常の小さな幸せにスポットライトを当てたい」

多様化が進む介護現場

介護ロボットやICT、AIなどの導入により、介護の現場は以前とは大きく変わりました。技術に頼れる分、利用者の心に寄り添うなど、人にしかできない仕事に注力できる場面も増えています。また、外国人職員や未経験からスタートする職員、子育て中の職員、シニア世代の職員なども増え、職員の多様化が進んでいることから、個人の成長を支える研修はとても重要です。

ただ、多くの介護現場では日々の業務に加えて充実した研修を行うことは難しいのが現状です。職員が学び、成長し、仕事の喜びを感じられる環境づくりには、現場と研修センターの連携が欠かせません。「弦巻の家」では、未経験から

入った職員の介護技能の習得や、短時間勤務の職員のスキルアップなどに研修センターが行っている現場向けの研修を活用しています。また、外国人職員の交流会に参加する職員もあり、今後はスキルだけでなく、職員が地域になじむ機会づくりでも連携を強化していけたらと思います。

小さな幸せを大切にしたい

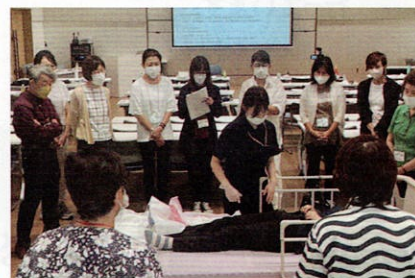
福祉・介護の仕事は、利用者を幸せにし、また職員自身も誇りと喜びを得られます。日常的に生まれる小さな幸せにスポットライトを当てることで介護職の魅力を伝えたいと考え、KAiGO PRiDEアンバサダーとして、どんな発信ができるのか模索し続けています。「弦巻の家」では、地域の方が集まる力



特別養護老人ホーム弦巻の家・施設長
KAiGO PRiDEアンバサダー

ふじまき けいすけ
藤巻佳祐さん

フェスペースに、職員が働く姿を紹介する写真パネルを展示しています。写真をきっかけに少しでもこの仕事の魅力に触れてもらえたら嬉しいです。



研修では様々な介護技能を学びます

研修センターの福祉・介護の魅力発信の取り組み



福祉のしごと入門講座 相談・面接会



福祉の事業所で働きたい方に向けて、「せたがや福祉のしごと入門講座、相談・面接会」を年7回実施しています。仕事内容や、各種資格取得方法などを学ぶ入門講座とともに、現役介護職員の声や参加法人による事業所紹介の動画を上映後、興味のある法人のブースを回って、直接、事業所の職員と仕事内容や勤務条件などの話ができます。



外国人介護職員 インタビュー動画の公開



区内特別養護老人ホーム(31施設)では、300人を超える外国人介護職員が働いており、「入居者の笑顔と感謝の言葉にやりがいを感じている」など、仕事への意欲が高く、利用者を支える貴重な存在になっています。研修センターでは、現場で働く職員の仕事のやりがいや、日本語の学習、日常の思いをインタビュー動画としてホームページに公開しています。



福祉の出前入門講座



区内の小学校などに出向き、高齢者や障害者への理解を深め、福祉や福祉の仕事について知るための体験学習を行っています。車いす体験や高齢者疑似体験、介護の基礎知識などを通じて、誰もが暮らしやすい地域について楽しく学びながら、子どもたちが福祉の仕事に関心を持つきっかけづくりをしています。



せたがや シニアボランティア研修



65歳以上のシニア層を対象に、区のシニアボランティア・ポイント事業の説明を踏まえ、ボランティア活動を行う上での心構えや、施設利用者への配慮などを学ぶ研修を年7回(うち動画を2回)行っています。人とのつながりを持つことができ、健康維持にもつながるボランティア活動に一步を踏み出して、人生100年時代を心豊かに過ごしていただけるよう後押しをしています。



世田谷区立保健センター

令和8年10月開始に向けて予約受け付け中 「シニア健康度測定」を始めます!

65歳以上の区民を対象とした「シニア健康度測定」では、新たにフレイルチェック、聴力検査、脳の健康チェックを実施し、その結果をもとに専門のスタッフが個別アドバイスをを行います。加齢に伴う心身の衰え(フレイル)を早期に発見しましょう。



- 実施日 一次測定 火曜日午前
二次測定 木曜日午前・午後
- 対象 65歳以上の区民の方(要予約)
- 料金 5,000円
※減免制度についてはお問い合わせください
- 予約 下記までご連絡ください。
問い合わせ先



問 世田谷区立保健センター
☎ 03-6265-7463 FAX 03-6265-7429

世田谷区福祉人材育成・研修センター

子どもたちに福祉を身近に感じて欲しい 「夏休み福祉体験」を開催

車いす・介護ベッド・ボッチャなどを体験し、楽しみながら福祉について学べる「夏休み福祉体験」を、今年も小学生と保護者、中学・高校生を対象に開催しました。参加者からは、「初めて車いすに乗って、距離感やスピード感を知ることができた。押してあげる際に気をつけようと思った」「夏休みの自由研究にしたい」など、様々な感想が寄せられています。今回の体験が、子どもたちの福祉への関心を高めるきっかけになればと思います。

また、今年は福祉系大学の学生に運営をお手伝いいただきました。学生からは「子どもたちに喜んでもらえて嬉しかった」などの声が聞かれました。今後も様々な取組みを通して、若い世代の福祉へのマインドを育て、誰もが幸せに暮らせる世田谷を目指していきます。



介護ベッドの操作を体験する子どもたち



車いすに乗り、自動販売機を利用する体験も



問 世田谷区福祉人材育成・研修センター
☎ 03-6379-4280 FAX 03-6379-4281

東京リハビリテーションセンター世田谷

公開セミナーを開催しました 「障害当事者に聞くそれぞれの地域生活」

令和8年6月13日(土)、公開セミナー「障害当事者に聞くそれぞれの地域生活」を開催しました。障害者支援施設 梅ヶ丘から地域移行を実現された3組の皆さんをゲストに迎え、地域生活の実際やその魅力についてインタビュー形式でお話いただきました。当日は会場とオンラインによるハイブリッド形式で実施し、計58名が参加。公開セミナーとして過去最多の参加者数となりました。また、施設利用者の皆さんが運営する「こうめカフェ」のドリンクを楽しみながら交流する時間も設け、参加者からは「地域生活のイメージが深まった」「今後も開催してほしい」など好評の声が寄せられました。

次回の公開セミナーのお知らせ

- 日時 令和8年11月28日(土) 午後2時
- 場所 東京リハビリテーションセンター世田谷
1階地域交流スペース
- テーマ 「知って納得! 地域で支える安心の在宅生活(仮)」
訪問系介護サービスの紹介や専門職による相談会を予定しています。

※詳細は、9月下旬に東京リハビリテーションセンター世田谷のホームページでお知らせします



問 東京リハビリテーションセンター世田谷
☎ 03-6379-0427

世田谷区認知症在宅生活サポートセンター

認知症になっても、私らしく。 にんさぽギャラリー2026

世田谷のまちでいきいきと生活している認知症のご本人が、これまでの経験や知識、そして豊かな感性を活かして制作した作品を展示します。認知症になっても自分らしく、希望を持って暮らし続けられる地域の輪の中で生まれた、彩り豊かな作品の数々を、ぜひ会場でお楽しみください。



- 展示期間 令和8年9月18日(金)~9月28日(月)
- 場所 総合プラザ1階 共有スペース
※観覧時間は総合プラザ開館時間に準じます



詳細はこちら

東京都立松沢病院 布村明彦院長 講演会 「高齢者の睡眠と認知症」

- 日時 令和8年9月26日(土) 午後2時~3時15分
 - 場所 総合プラザ1階 うめとびあホール(研修室C)
- ※詳細は、認知症在宅生活サポートセンターのホームページをご覧ください



問 世田谷区認知症在宅生活サポートセンター
☎ 03-6379-4315 FAX 03-6379-4316

貸出会議室の
ご紹介

「区民のみなさんのための会議室」

区民活動支援会議室1編



室内運動にも対応しているので、裸足でも安心！ 給湯室もご利用できます



明るく開放感のある部屋は最大72名まで収容可能



総合プラザ1階の区民活動支援会議室1は、地域で活動する団体が優先的に利用できる「区民活動支援」に特化した会議室です。その広さを活かし、子どもの運動教室からストレッチなどのシニアの健康体操まで、幅広い世代が様々な目的で利用しています。また、他の部屋にはない給湯室を備えており、活動の合間にお茶を飲みながら、ほっと一息つい

たり、参加者同士で交流を深めたりすることも可能です。団体利用のない午後5時30分以降は、周辺地域の学生（小学校5年生～高校3年生）の学習ルーム※として開放するなど、地域活動と学びを支える場として、多くの区民に親しまれています。

※利用には受付が必要です



総合プラザ 運営管理室
☎ 03-6379-4301
FAX 03-6379-4305

令和8年10月17日(土) 「2026 うめとびあフェスタ」を 開催します！

うめとびあ内事業所・協力団体によるワークショップや催し物、特典付スタンプラリー等を開催します。本年度は献血バスにて献血を実施する予定です。皆さまのご協力をお願いいたします。また毎年人気の梅マルシェやキッチンカーの商品には数に限りがございます。お早めにご来場ください！



開催日時 令和8年10月17日(土)
午前10時～午後4時

場所 総合プラザ
東京リハビリテーションセンター世田谷
ふれあいテラス(中央広場)

「第46回 区民ふれあいフェスタ」 を開催します！

区民ふれあいフェスタは、障害者週間(12月3日から9日までの1週間)の記念事業として毎年開催しています。今年も総合プラザで、障害者週間作品展や販売会を開催します。様々な作品を総合プラザの1階各所で展示する予定です。ぜひお立ち寄りください。

開催期間 令和8年11月25日(水)～12月4日(金)
場所 総合プラザ1階



世田谷区医師会初期救急診療所 世田谷区休日夜間薬局

夜間等に急に具合が悪くなったら
まずは、電話で問い合わせを

診療・開局時間

(診療所受付は終了時間の30分前まで)

月曜～金曜	小児科のみ 午後7時30分～午後10時30分
土曜	小児科・内科 午後5時～午後10時
日曜・祝日 年末年始	小児科・内科 午前9時～正午、午後1時～午後10時 ※薬局は午前9時～午後10時まで開局



世田谷区医師会初期救急診療所
(総合プラザ1階)
☎ 03-5301-0899
FAX 03-5300-2188

世田谷区休日夜間薬局
(総合プラザ1階)
☎ 03-5301-2830
FAX 03-6379-4330



ふれあいカフェ うめとびあ



場所 総合プラザ1階
営業時間 午前9時～午後4時
休業日 不定休・年末年始

9～11月の季節限定メニューが スタートしました！



ふれあいカフェ
うめとびあ
公式Instagram

障害者施設生産品販売会開催！

出来立ての美味しいパンや、
焼き菓子などが毎回好評です！



開催日 毎月第1～4火曜日(祝日を除く)
午前11時30分～午後1時30分
※販売時間帯は変動することがあります

世田谷区 障害者地域生活課
☎ 03-5432-2425 FAX 03-5432-3021

世田谷区立保健医療福祉総合プラザ

- 所在地 〒156-0043 世田谷区松原6-37-10
- 電話 03-6379-4301 ●FAX 03-6379-4305
- https://www.setagaya-sougouplaza.jp ●施設開設 令和2年4月1日
- 指定管理者 シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社

公式ホームページ



交通案内

- 【最寄駅】 小田急線 梅ヶ丘駅北口徒歩5分
小田急線 豪徳寺駅/東急世田谷線 山下駅徒歩8分
京王井の頭線 東松原駅徒歩14分
小田急バス 松原徒歩1分 東急バス 梅ヶ丘駅徒歩5分

【駐車場】 午前8時30分～午後10時30分 100円/15分

※身体障害者手帳等の所持者が乗車の場合、および初期救急診療所・休日夜間薬局利用の場合は無料
※駐車台数に限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください

